

# 遠賀

No.137 2015. 6.10

発行／福岡県遠賀町議会

議会だより

議長・副議長あいさつ	・・・	2
5月臨時会	・・・	3
3月定例会		
平成27年度予算可決		
こんな質問がありました	・・・	6
条例制定・補正予算など	・・・	8
2月臨時会	・・・	10
一般質問	・・・	11
議会ニュース	・・・	12

## 鬼津区子ども会清掃活動 5月17日

鬼津では、子ども会と老人会が1カ月交代で県道285号線浜口・遠賀線沿道の清掃活動を行っています。

今月は、子ども会の当番で、子どもたちの笑顔と同じように、溢れんばかりのゴミがレジ袋に詰まっていました。



5月

臨時会

5月8日開催

5月臨時会では、議長  
・副議長選挙や各種委員  
の選任などを行いました。

議長から選出  
中野 嘉徳

議案は、人事案件や契  
約など9件が上程され、  
慎重審議を行いました。

生産組合長からの選出  
織田 隆徳

安部喜美雄（木守）  
瓜生 保司（浅木）

議長選挙  
古野 修

遠賀・中間地域広域行政  
事務組合議会  
萩本 悦子

副議長選挙  
萩本 悦子

中間市外二ヶ町山田川水  
萩本 悦子

介護保険広域連合議会  
萩本 悦子

加藤陽一郎  
織田 隆徳

### 人事案件

監査委員

（全員一致同意）

任期満了のため選任す  
るもの。

濱田 竜一

### 専決処分の承認

（万円未満四捨五入）

平成27年度一般会計補正  
予算

予算

（全員一致承認）

第1回目の補正予算は、  
4270万円を増額し、  
予算規模は72億1424  
万円になりました。

低所得者に対し、消費  
税引き上げによる影響を  
緩和するためのもの。

システム導入開発委託料  
184万円

マイナンバー制の導入  
に伴い、新たに電算開発

【主なもの】

子育て世帯臨時特例給付  
金 971万円

子育て世帯に対し、臨  
時特例的な給付措置を行  
うもの。

臨時福祉給付金給付事業  
3116万円

低所得者に対し、消費  
税引き上げによる影響を  
緩和するためのもの。

システム導入開発委託料  
184万円

マイナンバー制の導入  
に伴い、新たに電算開発

食育交流・防災センター  
整備工事請負契約の変更  
県道出入口の舗装整備  
工事が減工になったため。

契約金額  
（変更前）  
1億3872万円

（変更後）  
1億3831万円

鹿児島本線遠賀川・海老  
津間白毛踏切道改良工事  
に伴う平成26年度実施協  
定の変更

信号工事額の変更で1  
05万円ほど増額し、3  
096万円になりました。

### 契約

（万円未満四捨五入）

鹿児島本線遠賀川・海老  
津間白毛踏切道改良工事  
に伴う平成27年度実施協  
定の締結

（全員一致可決）

白毛踏切道は幅員が狭  
く、また過去に大きな事  
故も発生しており危険が  
大きいため、町道別府・  
上別府間の道路拡張工事  
に併せ、踏切の拡張工事  
を行うもので、平成25年  
度から平成27年度までの  
3カ年事業です。

協定金額  
8141万円



改良工事が進む白毛踏切道

# 新 議会 公議員の紹介

4月26日に執行された、遠賀町議会議員一般選挙で当選した議員を紹介します。

議席番号順に氏名、当選回数、生年月日、住所、職業等、所属委員会を掲載しています。

当日有権者数	15,959名
投票総数	8,766名
投票率	54.93%
有効投票数	8,633票



● 2番議員 **仲摩 靖浩** (当選1回)  
なかも やすひろ  
 ● 生年月日 昭和45年1月17日 (45歳)  
 ● 住所 島門16番5号  
 ● 職業等 無職  
 ● 所属委員会 第二常任委員会、議会広報常任委員会



● 1番議員 **浜岡 峯達** (当選5回)  
はまおか みねざと  
 ● 生年月日 昭和15年1月13日 (75歳)  
 ● 住所 遠賀川三丁目7番23号  
 ● 職業等 無職  
 ● 所属委員会 第一常任委員会、議会広報常任委員会



● 5番議員 **萩尾 修身** (当選2回)  
はぎお おさみ  
 ● 生年月日 昭和26年2月20日 (64歳)  
 ● 住所 遠賀川一丁目5番6号  
 ● 職業等 自営業  
 ● 所属委員会 第一常任委員会



● 4番議員 **二村 義信** (当選6回)  
ふたむら よしのぶ  
 ● 生年月日 昭和20年8月4日 (69歳)  
 ● 住所 鬼津1904番地  
 ● 職業等 農業  
 ● 所属委員会 第二常任委員会



● 3番議員 **尾下 康文** (当選1回)  
おした やすふみ  
 ● 生年月日 昭和26年11月12日 (63歳)  
 ● 住所 田園二丁目6番1号  
 ● 職業等 会社員  
 ● 所属委員会 第二常任委員会、議会広報常任委員会



● 6 番議員 田代 順二 (当選1回)  
 ● 生年月日 昭和42年4月26日 (48歳)  
 ● 住 所 別府3212番地  
 ● 職業等 政党役員  
 ● 所属委員会 第一常任委員会



● 7 番議員 濱田 竜一 (当選1回)  
 ● 生年月日 昭和53年3月29日 (37歳)  
 ● 住 所 松の本四丁目3番10号  
 ● 職業等 自営業  
 ● 所属委員会 第一常任委員会、議会広報常任委員会、議会運営委員会



● 8 番議員 中野 嘉徳 (当選2回)  
 ● 生年月日 昭和22年8月18日 (67歳)  
 ● 住 所 老良64番地  
 ● 職業等 無職  
 ● 所属委員会 第二常任委員会、議会広報常任委員会、議会運営委員会



● 9 番議員 加藤 陽一郎 (当選2回)  
 ● 生年月日 昭和26年4月12日 (64歳)  
 ● 住 所 今古賀295番地  
 ● 職業等 農業  
 ● 所属委員会 第一常任委員会、議会運営委員会



● 10 番議員 仲野 新三郎 (当選3回)  
 ● 生年月日 昭和47年7月25日 (42歳)  
 ● 住 所 遠賀川二丁目6番14号  
 ● 職業等 自営業  
 ● 所属委員会 第二常任委員会、議会運営委員会



● 11 番議員 織田 隆徳 (当選2回)  
 ● 生年月日 昭和25年11月23日 (64歳)  
 ● 住 所 広渡2042番地  
 ● 職業等 無職  
 ● 所属委員会 第二常任委員会、議会運営委員会



● 12 番議員 萩本 悦子 (当選3回)  
 ● 生年月日 昭和30年3月21日 (60歳)  
 ● 住 所 広渡一丁目11番1号  
 ● 職業等 無職  
 ● 所属委員会 第一常任委員会、議会広報常任委員会、議会運営委員会



● 13 番議員 古野 修 (当選3回)  
 ● 生年月日 昭和44年3月14日 (46歳)  
 ● 住 所 虫生津295番地  
 ● 職業等 農業  
 ● 所属委員会 第二常任委員会

3月定例会は、3月3日から18日までの16日間開催されました。議案は、条例制定・改正、平成26年度補正予算、平成27年度予算など43件が上程され、慎重審議を行いました。

# 平成27年度予算可決 こんな質疑がありました

(後期高齢者医療特別会計予算 賛成多数可決)  
(その他すべて 全員一致可決)

## 町長施政方針 教育施策要綱 質疑

平成27年度一般会計予算は、議員全員で構成する予算特別委員会を設置し、審査を行いました。



捨てればごみ、生かせば資源

**Q** 資源ごみ回収を行っている婦人会や子ども会には縮小傾向にある。回収を行っている団体と一緒にしたような新しい組織をつくった方が良いのではないか。

**A** 高齢者や子どももの見守りなど、地域のコミュニティを醸成し、維持していく意味では集団回収事業が有効だと考える。今回の意見も含めて、既存の団体に再度呼び

び掛けをしていきたい。

**Q** ブランド化事業の民間移譲は、どのような形態で行うのか。町内業者に限るのか、町外業者も含め考えているのか。

**A** 町内業者を優先したが、町外にも声を掛けていく必要がある。生産グループが主体となつて取り組んでいただけないか協議を進めており、加工は施設がないので、外部に委託し、徐々に自立して加工もできるようなことを考えている。

**Q** 本町の特産品である「夢れんげ」の学校給食米飯回数を増やせないか。

**A** 「夢れんげ」の学校給食米飯回数を増やせないか。今、補助金が獲得できるか苦しいところだが、まずは計画どおり設置で



たくさん食べたい「夢れんげ」

**Q** 食育交流・防災センターに、新しく移行する段階で、米飯給食回数を少しでも増やしていきたい。

**A** 食育交流・防災センターに、新しく移行する段階で、米飯給食回数を少しでも増やしていきたい。

**Q** 小中学校の空調設備（エアコン設置）は、補助金が付かない場合でも実施するのか。また、平成28年度から31年度までと設置に長期間かかる計画だが、期間を短縮すべきだ。

**A** 私の公約であり、4年間の任期中に成し遂げられるように努力する。

今、補助金が獲得できるか苦しいところだが、まずは計画どおり設置で

きるように、補助金の獲得に向けて努力をしたい。

**Q** 高齢者福祉サービスの充実で重要になってくる地域ケア会議の位置付けと構成メンバーを尋ねる。

**A** 地域包括ケアシステムを形成していく中で、重要な部分と介護保険法の中でも位置付けられている。

構成メンバーは、区長、民生委員、町内のボランティア団体、事業者などを考えている。

**Q** 駅前のJA跡地の利用は、どのように考えているか。



にぎわいが期待されるJA跡地

**A** J A北九の組合長とも積極的に話し合いを進めていく。

**Q** 駅前商店街振興計画の見直しで、産官学連携事業はどのように進められているのか。

**A** 産官学連携事業は、内部で協議しているがなかなか進まない。

あらゆる手段を使いながら、幅広いノウハウを持ったところを探して、実効性のある取り組みを進めていきたい。

**Q** 買い物困難者対策の中でJ A北九との連携強化は進んでいるか。

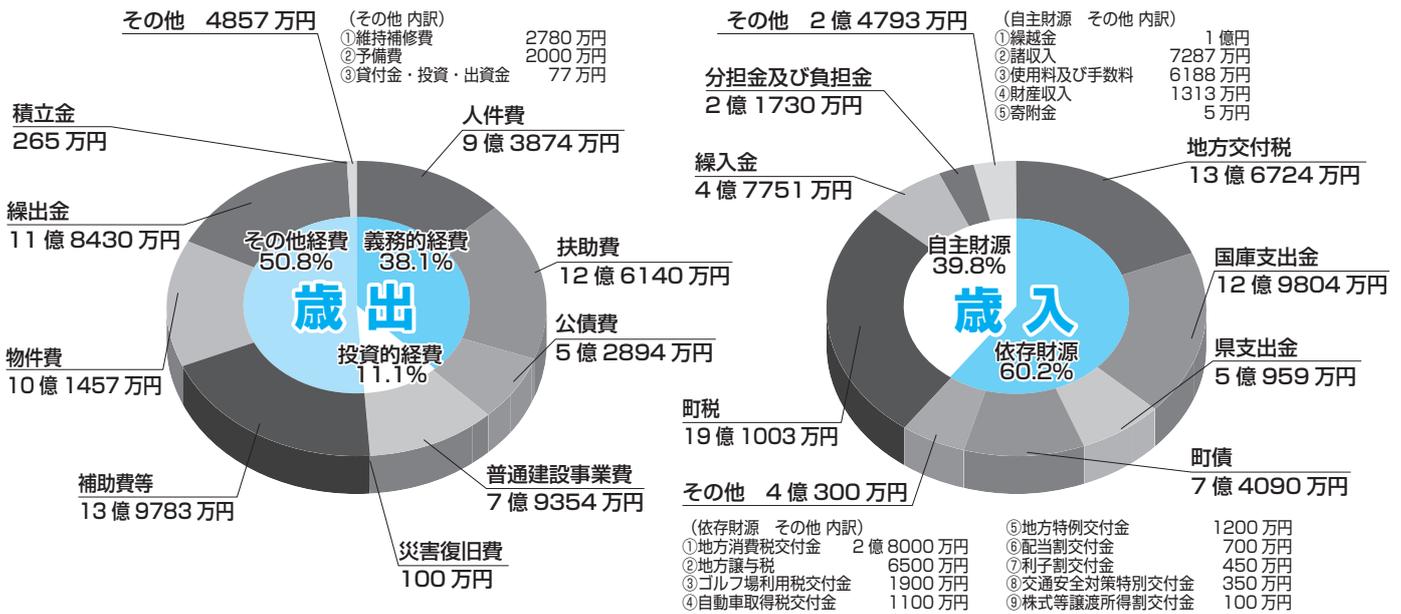
**A** 町としては買い物環境の改善につながるよう、移動販売車とは違った形で買い物困難者対策に取り組んでもらえるよう、J A北九と協議している。

**Q** インターネット等の正しい使い方を、小

# 平成 27 年度一般会計予算決定

一般会計予算 71 億 7154 万円

(万円未満四捨五入)



- 【歳入】
  - 繰入金 町の基金などから繰り入れるもの
  - 分担金及び負担金 保育所の保育料や老人ホームの入所者負担金など
  - 地方交付税 地方公共団体が等しく業務を遂行できるように国から交付されるもの
  - 国庫支出金・県支出金 国や県が地方公共団体に支出・交付する資金のうち、その用途が特定されているもの
  - 町債 国や金融機関からの借入金
  - 人件費 職員や議員などに支払われる給与など
  - 扶助費 社会保障制度費に掛かる経費。生活保護費、児童手当など
  - 公債費 町債の元利償還金や一時借入金の利子など
  - 普通建設事業費 道路、学校など公共施設の建設事業費
  - 補助費等 各種団体への補助金や負担金など
  - 物件費 臨時職員の賃金、消耗品、保険、事業委託料など
  - 繰出金 一般会計から特別会計へ支出される経費



私たちの図書室、どの本を選ぼうかな

さいころから、教育しなければ、大人になっても悪い影響があるのでないか。

全く同感であり、昨年の夏から、教育緊急課題ということで、研修も行い、生徒会でルールを決めるなど、PTAも一緒に巻き込んで展開するよう考えている。

今年度の各学校の蔵書率は100%を指標としてあげられている。今回の予算配分は、蔵書率100%を考慮した内容になっているのか。

単年度で100%の蔵書率となればいいのか。蔵書率とすればいいのだろうか、予算的な事

## 一般会計予算 審議

マイナンバー制実施に向けて、住民への周知方法は、広報紙でシリーズ化し、細かく説明・周知していく。

また、町のホームページの利用や国からのチラシなどの活用も考えている。

夏まつり実行委員会の負担金は、警備を增强するために増額するとの説明だが、自由通路上での花火見学を認めるのか。

規制をする場合、駅の利用者や南北の移動は、どう考えているのか。



夏まつり日の通行禁止が予定される自由通路

「地方版の総合戦略」と「定住促進計画」は、重複する計画であると感じる。どういう兼ね合いがでてくるのか。

人口減少問題は、総合戦略の中に出てくる可能性もあるが、基本的には別の問題だと考えている。

本格的な考えだが、利用者には数日前から利用停止措置を取らざるを得ないかと考えている。

今後、利用者のことも考慮し、警察と十分協議して、安全第一という方向で進める。



投票率アップに一役、期日前投票

**Q** 電気式生ごみ処理機の補助の対象を事業所にまで拡大するが、どのように推進していくのか。

**A** 事業所ごみは、平成25年に商工会を通じてアンケート調査を行った。特に、事業所に対しての周知も商工会と一緒に推進していく。

**Q** 投票率が低くなってきているが、例えばショッピングセンターに期日前投票所を設置するなど、投票率を上げる対策をとるべきだ。

**A** 今年度は、広報車を走らせるといったこと

## 一般会計・特別会計の前年度との予算比較

(万円未満四捨五入)

会計名	平成 27 年度 (当初予算)	平成 26 年度 (当初予算)	増減率
一般会計	71億7154万円	61億7969万円	16.1%
国民健康保険事業	27億4238万円	24億8501万円	10.4%
住宅新築資金等貸付事業	869万円	848万円	2.5%
遠賀霊園事業	7945万円	1億5446万円	▲48.6%
学校給食事業	8億886万円	1億4128万円	472.5%
地域下水道事業	7092万円	7947万円	▲10.8%
農業集落排水事業	9244万円	9182万円	0.7%
公共下水道事業	5億6792万円	6億2613万円	▲9.3%
土地取得	5035万円	29万円	17262.1%
後期高齢者医療	3億629万円	2億9069万円	5.4%

特別会計

**Q** 武道場の建て替えは、検討する時期に来ているのではないか。

**A** は検討しているが、期日前投票所の増設に関しては考えていない。

**Q** 武道場の建て替えは、検討する時期に来ているのではないか。

**A** 基本的には、今の武道場を使えるまで使つて、今後の課題として南中学校の武道場を使うのか、新たに求めるのか検討委員会などに委ねたいと思つている。

## 条例制定

いきいきおんが推進委員会条例  
(全員一致可決)

本町の人口減少対策や地域活性化対策、都市再生整備計画等の今後のまちづくりの方策などに関する事項を調査検討し、将来に向けたいきいきとしたまちづくりを推進するため、条例を制定するもの。  
委員は10人以内で構成し、任期は2年で再任を妨げない。

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等を定める条例  
(全員一致可決)

子ども・子育て支援法に基づく特定教育・保育施設などを利用する児童の保護者に対する利用者負担額の階層区分を14区分にするもの。

## 条例改正

自転車駐車場設置及び管理に関する条例の一部改正  
(全員一致可決)

遠賀川駅南側駅前広場の整備に伴い、新設する自転車駐車場の設置と管理に関する必要事項を定めるため、改正するもの。

一般職職員の給与に関する条例の一部改正  
(賛成多数可決)

人事院勧告に基づいて国家公務員給与の改正が行われたため、国の改正に準じて、本町職員の給与を改正するもの。

遠賀川駅南側駅前広場の整備に伴い、道路法の規定に基づき新設する、道路の附属物である自動車駐車場の設置と管理に関する必要事項を定めるもの。  
(全員一致可決)

企業誘致条例  
(全員一致可決)

町内に事業所を設置する企業などに対し、奨励措置を講じることにより、企業誘致の促進を図り、もって産業の振興と雇用機会の拡大に寄与するために制定するもの。

- ① 給与を平均2%引き下げる。
- ② 初任給や若年層の給与は引き下げない。
- ③ 高年齢層の給与は、最大4%引き下げる。

# 平成26年度 一般会計・特別会計 補正予算

(万円未満四捨五入)

会計名	予算総額	補正額
一般会計	63億3146万円	▲5467万円
特別会計	国民健康保険事業	1788万円
	住宅新築資金等貸付事業	4万円
	遠賀霊園事業	1422万円
	学校給食事業	▲190万円
	地域下水道事業	▲363万円
	農業集落排水事業	▲172万円
	公共下水道事業	▲1446万円
	土地取得	8万円
	後期高齢者医療	▲406万円

職員の退職手当に関する  
条例の一部改正  
（賛成多数可決）  
人事院勧告に基づいて  
国家公務員の退職手当の  
改正が行われたため、国  
の改正に準じて、本町職  
員の退職手当を改正する  
もの。

今回の改正は、給与の  
引き下げに伴い、退職手  
当も下がるため、調整額  
を引き上げて現行の退職  
手当の額を維持するもの。

## 平成26年度 一般会計補正予算

### 5467万円減額

(万円未満四捨五入)

（全員一致可決） すもの。

第6回目の補正予算は、  
5467万円を減額し、  
予算規模は63億3146  
万円になりました。

【交付金で計上された事  
業】

営農支援対策事業補助金

250万円

今回の補正は、国の地  
域住民生活等緊急支援の  
ための交付金による事業  
予算の計上と年度末に当  
たつての事務・事業の整  
理確定に伴う清算が主な  
ものです。  
なお、交付金で計上さ  
れた事業は、平成26年度  
中に終了しないため、平  
成27年度に繰り越して事  
業が行われます。

### 【主なもの】

国民健康保険事業特別会  
計繰出金

8867万円

医療費の上昇のため、  
一般会計から国民健康保  
険事業特別会計に繰り出

費喚起のため、プレミア  
ム率を20%に増額した得  
トク商品券とリフォーム  
商品券を発行するもの。

子育て応援商品券（夢れ  
んげ）交付事業

597万円

少子化対策として、本  
町の特産米「夢れんげ」  
を15歳以下の子ども1人  
あたり5kgずつ交付する  
ための商品券を交付する  
もの。

地方版総合戦略策定事業  
費

774万円

人口減少対策と地域の  
特色や資源を生かしたま  
ちづくりのために、いき  
いきおんが推進委員会を  
開催し、地方版総合戦略  
を策定するもの。

地域活性化商品券補助金

2535万円

経済対策として地域消

こどもまつり事業費

173万円

地域創生に向けた取り  
組み事業の一つとして、  
「こどもまつり」を実施



楽しいぞ！「こどもまつり」

障害児保育事業補助金

355万円

特別児童扶養手当の受  
給対象になる障害児が入  
所している保育所で、事  
業実施に必要な保育士を  
配置するために補助する  
もの。

### 特別会計補正予算

(万円未満四捨五入)

遠賀霊園事業特別会計  
(全員一致可決)

1620万円

緑地公園休憩所整備費  
現在のプレハブの休憩  
所が老朽化しているため  
建て替えるもの。

# 議案提出の議案

議会委員会条例の一部改正  
正  
(全員一致可決)

改正の主なものは、次のとおりです。

※①②ともに、今回の改選後から適用していただきます。

①議員定数の1人削減により、第一常任委員会  
の定数を1人減員し6  
人にするもの。

②「議会広報調査特別委員会」を「議会広報常  
任委員会」にするもの。

## 人事案件

人権擁護委員の推薦

(全員一致可決)

任期満了に伴い、再度  
推薦するもの。

織田 百代さん

(中央)

▽任期

平成27年7月1日～

平成30年6月30日

2月

臨時会

2月13日開催

### 子ども・子育て支援事業 計画審査特別委員会

子ども・子育て支援事業  
計画の策定  
(全員一致可決)

平成27年度からの5年  
間における「子ども・子  
育て支援計画」の策定に  
対し、議員全員で構成す  
る「子ども・子育て支援  
事業計画審査特別委員会」  
を設置しました。

この計画は、平成26年  
度で計画期間が終了した  
「次世代育成支援行動計  
画」の取り組みや成果を  
引き継ぎ、「質の高い幼児



すくすく育て「おんがっ子」

期の教育・保育の提供」

「保育の量的拡大・確保」  
「地域子育ての支援」に  
対する総合的な子ども・  
子育て支援施策の方向性  
が示されています。

策定に当たっては、子  
ども・子育て支援法に基  
づいた「子ども・子育て  
会議」を設置しての審議  
だけでなく、就学前児童  
と小学生の保護者を対象  
にしたアンケート調査の  
結果などから、現状と課  
題を把握し、今後の方向  
性を決めていきます。

議会としても、事業計  
画や実施計画をチェック  
しながら実現に向け推進  
してまいります。

## 条例改正

役場課設置条例の一部改  
正  
(全員一致可決)

1月臨時会の際に、継

続審査になっていた議案  
で、行政サービスの低下  
がなく、柔軟で効率的な  
組織・機構のため、役場  
の課をこれまでの8課か  
ら、「健康こども課」の新  
設を含む9課にするもの。  
※4月1日から適用され  
ています。

### 【これまでの流れ】

1月臨時会（1月15日）

「駅南開発事業の重要  
性を考えると『都市開発  
係』という1係の位置付  
けでいいのか」「連合審査  
会を設置すべきだ」など  
の意見が出て、継続審査  
にする。

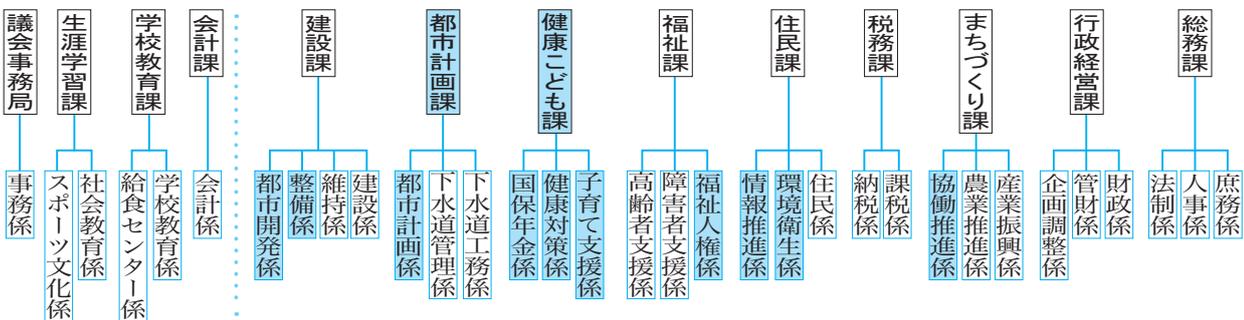
連合審査会（1月20日）

町長から、「将来、駅南  
開発事業で特化した課が  
必要な時期が来れば、職  
員の配置人員を増員して  
でも行う」などの回答を  
得る。

2月臨時会（2月13日）

連合審査会での町長の  
回答などを基に、審議を  
行ったところ、全員一致  
で可決。

【4月1日現在の課・係】  
※青色で示した課・係が、  
変更になったものです。



賛否が分かれた議案 (○：賛成 ▲：反対 欠：欠席)

議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
会議名	議員名	浜岡	萩本	織田	二村	欠番	欠番	加藤	中野	萩尾	仲野	古野	堅田	平見	奥村
3月 定例会	遠賀町一般職職員の給与に関する条例等の一部改正について	▲	▲	○	○			○	○	○	○	○	▲	○	○
	遠賀町職員の退職手当に関する条例の一部改正について	▲	▲	○	○			○	○	○	○	○	▲	○	○
	平成26年度遠賀町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○			○	○	○	○	○	▲	○	○
	平成27年度遠賀町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○			○	○	○	○	○	▲	○	○

※ 全員一致の議案は除いています。

一般質問とは…

年4回行われる定例会で、議員が町に対して現行政策の見直しや新規政策を提言する議員の重要な活動の一つです。



はま おか みね さと  
**浜岡 峯達**



## これからの行政運営の方法について問う



### 人事評価制度の構築と並行し、人材育成方針の見直しを行う



職場の改善活動を発表している様子

#### 人材育成基本計画の取り組み状況は

**議員** 本年人材育成基本計画の見直しは支障なく行われると考えてよいか。

**町長** 人材育成基本計画、人事評価制度の導入支援を含めた形になるので、専門的な部分と内部のプロジェクトをつくり作成していくが、コンサル料として新年度に予算を計上しているので、本年度中にしつかりしたものができると思う。

**議員** 効率よく見直しを図るべきと思うがどのようなプロセスを用いて見直しを図るのか。

**町長** 人材育成基本計画と合わせて人事評価制度も含めた計画書となり、議会で議決をされれば、作業に入っていく段取りとなっている。

**議員** 新年度予算に計上されており、見直しの実施に入るが、本町独自の取り組みはどのように考えているのか。

**町長** 職員としては、やはり地域にしつかりと根ざした職員に育ててほしいし、職員を育てるための人材育成基本計画をしつかりと立てていきたいと思う。

**議員** Q C活動で業務改善の取り組みは

**議員** 業務の改善策として、業務を本来業務から離れて小集団でやる、自主管理活動を立ち上げてみてはどうか。

えているのか。  
**町長** 職員としては、やはり地域にしつかりと根ざした職員に育ててほしいし、職員を育てるための人材育成基本計画をしつかりと立てていきたいと思う。

#### Q C活動で業務改善の取り組みは

**議員** 業務の改善策として、業務を本来業務から離れて小集団でやる、自主管理活動を立ち上げてみてはどうか。

**町長** Q C活動の趣旨は十分理解し捉えており、各課でやらないか、という提案に対しては、日ごろから実施している。

**議員** 強制的にやれということではなく、自主的に管理職のグループを見本として立ち上げてはどうか。

**町長** 管理職もそれぞれがQ C活動の議論をしているので、中身については課長もしつかりと理解

した中で課の運営、系の運営をやっていると理解をしている。

**議員** 町長はQ C活動に類似したものをやっていると言われているが、自分達がどのような業務改善をやったか、どういう苦労があったとか、実際に発表する機会を設ければ、職員のモチベーションも変わるのでないかと思う。Q C活動が業務改善につながっていくと思う。

※この他にも、「パティパットゴルフ場の活用」について質問しました。



### 4人の議員が受章

3月定例会初日の3月3日に、各種表彰状の伝達が行われました。

#### ○全国町村議会議長会

自治功労者表彰  
議長議員15年以上  
浜岡 峯達

#### ○福岡県町村議会議長会

自治功労者特別表彰  
議長議員23年以上  
奥村 守

#### ○福岡県町村議会議長会

自治功労者表彰  
議長議員15年以上  
浜岡 峯達

#### ○遠賀町功労表彰

議長議員12年以上  
堅田 繁  
平見 光司

## これから1年間お世話になります 議会広報モニター決定

議会だより No.136 で募集しました議会広報モニターは、下記の5人の皆さんに決定し、4月3日に委嘱状を交付しました。これから1年間よろしくお願ひします。



- 草野 美和子さん (浅木)
- 白石 信さん (浅木)
- 鈴木 裕子さん (田園北)
- 竹内 宏太郎さん (若松)
- 古江 政子さん (松の本)



### 委員会レポート

(基地対策特別委員会)

#### 飛来塩分調査の結果は

3月10日、九州防衛局から平成25年から行われていた飛来塩分調査の報告がありました。

芦屋基地内3カ所と島津・若松・鬼津の合計6カ所で現地調査を行った結果、農作物に被害をもたらすような大きな付着塩分は観測されなかった。しかし、今後、雨なし

#### 松の植樹作業を実施

3月26日、昨年に引き続き芦屋町や遠賀町の住民の皆さんや芦屋基地の隊員の方々と共に、150本の松苗の植え付け作業を芦屋基地内の海岸沿いで行いました。

また、昨年植え付けた苗も30cmほど成長しているのも確認しました。今後も農作物への塩害を防ぐために、続けて参加していきます。



昨年植えた松 今回植えた松

## がんばります！

### 議会広報常任委員会

- 委員長 中野 嘉徳
- 委員 尾下 康文
- 委員長 萩本 悦子
- 委員 濱田 竜一
- 副委員長 萩本 悦子
- 委員 廣田 竜一

町民の皆さんのために分かりやすい広報を作成し、開かれた遠賀町議会を目指します。

●委員 浜岡 峯達  
現場主義に徹した、広報活動に取り組み親しみもてる広報を目指します。

●委員 仲摩 靖浩  
町民の皆さんのために、読みやすく分かりやすい議会だよりの作成を目指します。



写真左から 濱田委員、浜岡委員、萩本副委員長、中野委員長、仲摩委員、尾下委員

●発行責任者 議長 古野 修

発行／福岡県遠賀郡遠賀町議会  
編集／議会広報常任委員会  
2006(2006)1-2355

議会だよりに関するご意見・ご感想をお寄せください。遠賀町議会事務局 ☎093(2006)1-2355 e-mail: gikajimukyoku@town.onaga.lg.jp

